



さわむら

沢村 おさむ

1963年 旧新湊市八幡町に生まれる。現在55歳 [住所] 神楽町
[家族] 妻、母、子(大学生、新高校生)と5人暮らし

1976年 放生津小学校卒

1979年 奈古中学校卒

1982年 高岡高校普通科卒

1987年 青山学院大学経営学部卒
旧新湊市役所に入職 税務課、農業水産課、福祉課
港湾商工課などに勤務

2009年 射水市役所を退職し、射水市議選に出馬、初当選

対話と行動で 笑顔あふれる県政を

子どもたちと高齢者の皆さんに笑顔を

- ゆとりある保育・教育環境の整備で、子どもたちの健やかな成長を応援
- 高齢者施策の充実で、お年寄りがいきいきと暮らせるまちづくり
- 公共交通の充実で交通弱者に移動の自由を

はたらく人に笑顔を

- 地場産業の活性化支援で、実効ある雇用創出の推進
- 仕事と育児が両立できる、子育て支援施策の充実
- 非正規労働者の処遇の改善

農林水産業に笑顔を

- 食の安全・安心を担う農林水産業の振興、地産地消の推進、担い手の育成
- 漁業・水産業の振興に向け、海の生態系を守り、資源の再生を

「とやま」に笑顔を

- 防災・防犯対策の充実で、安心して暮らせる地域づくり
- 空き家・空き地対策の充実など、旧市街地の住環境の再整備

地球に笑顔を

- 再生可能エネルギーの利用推進で、豊かな自然環境を次の世代に
- ごみの減量やリサイクル推進など、環境対策の充実



沢村おさむ ホームページ

<http://www.o-sawamura.com/>



大型開発より暮らし優先の県政へ

《民生費・衛生費は減額》

2019年度県予算が先の県議会で決定されました。県民福祉や医療などの予算＝「民生費・衛生費」は13億円(1.4%)も減額されました。子育て支援や少子化・人口減少対策などが叫ばれる中、大きな問題です。

《土木費・普通建設事業費は大幅増額》

一方、「土木費」は657億円で71億円(12.0%)増加しています「普通建設事業費」では、934億円で143億円(18.1%)も増加しています。その結果、県債発行は702億円で前年度より45億円(6.8%)も多くなっています。公共事業重視の予算と批判される所以です。

「ゆとりと安心の県政」をめざします

- ①総務省の家計調査によれば昨年2018年平均で「勤労者世帯の実収入」は前年比実質▲1.2%、「消費支出」は前年比実質▲1.0%と、厳しい生活が続いていることがわかります。さらに今年10月からは多くの国民の反対にもかかわらず消費税が10%へ引き上げられようとしています。
- ②したがって、沢村おさむは、「保育料無償化の拡充」、「子育て応援券の抜本的拡充」、「介護従事者の処遇改善、育成と充足」、「非正規労働者の正規化の推進」、「最低賃金を1,000円に」、「全学年での35人以下学級の実現」、「公共交通の利便性の向上」等々に全力を挙げ、「ゆとりと安心の県政」をめざします。

＝まずは保育料無償化の拡充を＝

- (ア) 今年10月から3歳～5歳児の保育料が無償化されます。今後、県としての0歳児～2歳児保育料の抜本的負担軽減などが重要です。
- (イ) 年度途中入所や近くの保育所に入所できないなどの「隠れ待機児童」対策も必要です。また、「子ども応援券」の抜本的拡充も必要です。



市町村との連携強化、格差是正に努めます

- ①子どもの医療費助成制度は、各市町村の努力で中学生までの無料化が全県下で実現しました。県下全体となった制度は、県が基本的に負担し、その財源で各市町村が地域の実情にあった子育て事業や人口減少対策などを推進すべきです。

- ②水道料金などで市町村ごとに大きな格差があります。行政サービスの大きな格差は問題です。水道事業は「各市町村の運営」とは言え、将来的な水道事業の民営化が心配され、県の支援が必要です。

■県内自治体の水道料金

氷見市	4,578円
高岡市	3,376円
射水市	3,348円
全国平均	3,228円
県内平均	2,980円
富山市	2,268円
黒部市	1,642円

※一般家庭で1ヶ月20m使用した場合。水道の口径は13^{ミリ}。2017年4月時点

